

“ドイツ室内楽の伝統的至芸を体感するひとときを！”

# ロータス・カルテット

東京クワルテット解散後、日本発祥で20年以上国際的な活躍をする唯一の存在。

## ペーター・ブック (チェロ)

20世紀のドイツを代表する世界的カルテット「メロス弦楽四重奏団」のチェリスト。



**実施時期** (15. 6月現在) = **2016年 2月29日~3月13日**

**【Program A】**

**第1部 ~Quartet 世界紀行~**

- ◆ハイ든：“ヴェネツィアの競艇” op.20-4 より 第1楽章 (ヴェネツィア)
- ◆モーツァルト：“ミラノ・セット” 第1番 K.155 より 第1楽章 (ミラノ)
- ◆プッチーニ：菊 (フィレンツェ)
- ◆レスピーギ：シチリアーノ (ローマ)
- ◆ヴォルフ：イタリアン・セレナーデ (ウィーン)
- ◆ドヴォルジャーク：“アメリカ” より 第4楽章 (プラハ)
- ◆バーバー：アダージョ (ニューヨーク)

**第2部**

- ◆ベートーヴェン：弦楽四重奏曲 第7番 ハ長調 op.59-1 『ラズモフスキー第1番』  
＜または＞
- ◆ベートーヴェン：弦楽五重奏のための『クロイツェル』  
(ヴァイオリン・ソナタ 第9番 イ長調 op.47 弦楽五重奏版)  
＜または＞
- ◆シューベルト：弦楽五重奏曲 ハ長調 D956

**【Program B】オール・ベートーヴェン・プログラム** (ロータス・カルテットのみ出演)

- ◆ベートーヴェン：弦楽四重奏曲 第7番 ハ長調 op.59-1 『ラズモフスキー第1番』
- ◆ベートーヴェン：弦楽四重奏曲 第14番 嬰ハ短調 op.131

**【Program C】“弦楽五重奏の饗宴”**

- ◆ベートーヴェン：弦楽五重奏のための『クロイツェル』  
(ヴァイオリン・ソナタ 第9番 イ長調 op.47 弦楽五重奏版)
- ◆シューベルト：弦楽五重奏曲 ハ長調 D956

**【Program D】オール・シューベルト・プログラム**

- ◆シューベルト：弦楽四重奏曲 第15番 ト長調 D887
- ◆シューベルト：弦楽五重奏曲 ハ長調 D956

**【Program E】**

- ◆ベートーヴェン：弦楽四重奏曲 第14番 嬰ハ短調 op.131
- ◆シューベルト：弦楽五重奏曲 ハ長調 D956

**【Program F】**

- ◆ベートーヴェン：弦楽四重奏曲 第7番 ハ長調 op.59-1  
『ラズモフスキー第1番』
- ◆シューベルト：弦楽五重奏曲 ハ長調 D956

**【Program G】**

- ◆ベートーヴェン：弦楽四重奏曲 第14番 嬰ハ短調 op.131
- ◆シューベルト：弦楽四重奏曲 第15番 ト長調 D887

**【Program H】**

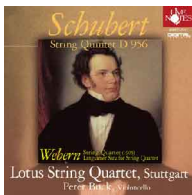
- ◆ヴォルフ：イタリアン・セレナーデ (ウィーン)
- ◆ベートーヴェン：弦楽四重奏曲 第7番 ハ長調 op.59-1  
『ラズモフスキー第1番』
- ◆シューベルト：弦楽四重奏曲 第15番 ト長調 D887

**ロータス・カルテット & ペーター・ブック (チェロ) 日本ツアー 2016年 春期 (15. 6月現在)**

※福岡公演は2016年10月に延期開催	3/3 (木) 兵庫県立芸術文化センター ※五重奏	3/7 (月) 武蔵野市民文化会館 ※五重奏
2/29 (月) ミント神戸 (神戸新聞会館=関係者)	3/4 (金) 名古屋 宗次ホール ※五重奏	3/8 (火) 藤沢 鶴沼サロンコンサート
3/1 (火) 和歌山 紀南文化会館	3/5 (土) 京都コンサートホール アンサンブルホールムラタ	3/11 (金) 横浜鶴見サルビアホール ※五重奏
3/2 (水) 岸和田自泉会館	3/6 (日) 東京 第一生命ホール ※五重奏	3/13 (日) 札幌コンサートホール ※五重奏

**2016年 10月 再来日**

- ◆シューベルト：弦楽四重奏曲 第14番 ニ短調 D810 『死と乙女』
- ◆シューベルト：弦楽五重奏曲 ハ長調 D956



**「レコード芸術」誌 2013年5月号特選盤!**

ロータス・カルテット  
シューベルト：弦楽五重奏曲 チェロ：ペーター・ブック

- ◆シューベルト：弦楽五重奏曲 ハ長調 D956
- ◆ウェーベルン：弦楽五重奏曲 (1905)
- ◆ウェーベルン：弦楽四重奏のための緩徐楽章 (1905)

LIVE NOTES WWCC-7713

お問い合わせ/コジマ・コンサートマネジメント

**TEL.03-5379-3733 / 090-3727-6539**

URL ▶ <http://www.kojimacm.com> E-mail ▶ [kojimacm@ops.dti.ne.jp](mailto:kojimacm@ops.dti.ne.jp)

# プロフィール

## ロータス・カルテット (弦楽四重奏)

1992年結成。1993年 大阪国際室内楽コンクール弦楽四重奏部門で第3位入賞。(会場=大阪・いづみホール)

1995年 ドイツ・シュトゥットガルト音楽芸術大学に入学。メロス弦楽四重奏団に師事。

すでに日本国内での活躍が約束されていた若い音楽家たちが、そのキャリアを断ち切って、弦楽四重奏という深遠、厳格な世界を極めるべく、そろってドイツに留学してしまったことは過去に例がなく、大きな注目を浴びた。

メロスは勿論のこと、アマデウス弦楽四重奏団やラ・サール弦楽四重奏団など、二十世紀を代表する名カルテットの厚い薫陶と信頼を一身に受けたロータス・カルテットは次第に本場ヨーロッパで頭角を現した。

1997年 難関のロンドン国際弦楽四重奏コンクールでメニューイン特別賞を、パオロ・ボルチアーニ国際弦楽四重奏コンクールで第3位特別賞を受賞。さらにドイツBDI音楽コンクール弦楽四重奏部門で第1位に輝く。このコンクールにおける弦楽四重奏部門での第1位受賞は、ロータス・カルテットの師である、メロス弦楽四重奏団以来の快挙であった。これを機に、ワーナー・テルデックと録音契約を結び、CDを世界にリリースするなど、以後今日までシュトゥットガルトを拠点に極めて充実した演奏活動を展開している。

メロス弦楽四重奏団も第1ヴァイオリン奏者のウィルヘルム・メルヒャーが2005年に逝去したことにより、ロータス・カルテットはメロス弦楽四重奏団のために予定されていた多数の公演を代役として、あるいはメロスの残されたメンバーとの合同演奏により救援するなど一層多忙を極めることになるとともに、アマデウスやメロスの伝統を全く正統に継承して活動を続ける貴重な弦楽四重奏団として、本場ドイツにおいて

安定した評価を得る成熟した弦楽四重奏団に成長した。

また2005年からはロータスと同じく、メロスやアマデウス、ラ・サールに学んだシュトゥットガルト弦楽四重奏団の第1ヴァイオリン奏者を長年務めたマティアス・ノインドルフがロータス・カルテットの第2ヴァイオリン奏者として加入することになり、大きな注目を集めた。

2006年には久々に“来日”し、シューマン没後150周年を記念して、東京と関西で『シューマン:弦楽四重奏曲全曲演奏会』を開催。同時期にリリースされた『シューマン:弦楽四重奏曲全集』CDが平成18年度 文化庁芸術祭 優秀賞受賞。

2008年にはベートーヴェン:ラズモフスキー・セット全曲演奏会を含む、10公演に及ぶ日本縦断ツアー、2010年にはシューマン生誕200周年を祝して、札幌コンサートホールと名古屋 宗次ホールからの招きにより3度目の『シューマン:弦楽四重奏曲全曲演奏会』を行う。

2012年には結成20周年記念日本ツアーを挙行。特に大阪では、国際的活動への出発点となった いづみホールにおいて、ゲストにセバスティアン・マンツ(クラリネット)を迎え、オール・ブラームス・プログラムによる結成20周年記念演奏会を開催。その模様はNHK-TV及びFMにおいて放送されたほか、同時期に記念ディスクとして発売された『ブラームス:弦楽四重奏曲op.51-1&2』『シューベルト:弦楽五重奏曲(チェロ:ペーター・ブック)&ウェーバーン:作品集』が いずれも『レコード芸術』誌で『特選盤』に選ばれるなど各新聞・雑誌において激賞された。この他にも好評を博しているレコーディングは数多い。

ロータス・カルテットは日本発祥ながらドイツを本拠とする国際的な常設弦楽四重奏団として、すでに20年以上のキャリアを誇り、今やドイツにおける弦楽四重奏の伝統的精神を受け継ぐ稀有な存在である。

(2015年7月現在)

### 近年の主要ディスコグラフィ

 <p>◆R.シュトラウス: 弦楽四重奏曲 Ⅰ長調 op.2 ◆ヴェルディ: 弦楽四重奏曲 ホ短調 ◆ロッシニ: 弦楽四重奏曲 第2番 Ⅰ長調 LIVE NOTES WWCC-7754</p>	 <p>ハイドン: 「ヴェネツィアの競艇」「五度」 ベートーヴェン: 弦楽四重奏曲 Ⅰ長調 Hess 34 LIVE NOTES WWCC-7731</p>	 <p>～弦楽四重奏名曲紀行～ 「杉並公会堂ライブ」 ◆ハイドン: 「ヴェネツィアの競艇」 op.20-4 ◆モーツァルト: 「ミラノセット」 第1番 他 LIVE NOTES WWCC-7728</p>
 <p>「レコード芸術」誌 2013年2月号 特選盤・優秀録音 「ステレオ」誌 2013年2月号 優秀録音 ブラームス: 弦楽四重奏曲 作品51 LIVE NOTES WWCC-7712</p>	 <p>「レコード芸術」誌 2011年10月号 準特選盤 ベートーヴェン: ラズモフスキー (全3曲) LIVE NOTES WWCC-7677-8</p>	 <p>平成18年度 文化庁芸術祭 優秀賞受賞 「レコード芸術」誌 2006年8月号 準特選盤 シューマン:弦楽四重奏曲全集 LIVE NOTES WWCC7524</p>

### ペーター・ブック (チェロ)

シュトゥットガルトに生まれる。国立シュトゥットガルト音楽演劇大学で音楽を学び、当時のロードヴィヒ・ヘルシャー教授のマスタークラスに在籍した。その後、ピエール・フルニエの下で更に音楽的経験を積んだが、フルニエからはそれまでにない芸術的な刺激を受けることになった。ブックは1961年ミュンヘンで行われたドイツ大学コンクールで受賞者の一人となる。同年、新設されたヴェルテンベルク室内管弦楽団の団員としてオーケストラ奏者としてのキャリアをスタートした。同楽団では1967年まで独奏チェロ奏者を務めている。そして1965年、ブックは世界中のあらゆる舞台上で活躍する演奏家としてのキャリアを歩み始める。それはブックがメロス弦楽四重奏団を立ち上げた年であり、メロスは数々の国際的な賞を受賞して一気に吊を挙げるようになった。おびただしい数の受賞レコードやCDがこのカルテットの40年に

及ぶ並外れた足跡を物語っている。ベートーヴェン・ハウス協会(ボン)の名誉会員やドイツ連邦共和国功労勲章を含む数々の栄誉は、ペーター・ブックの功績を称えるものである。

1980年より国立シュトゥットガルト音楽大学教授を務めている。世界中の国際コンクールの審査員やマスターコースの教師としても引く手あまたである。2004年10月には中国の瀋陽音楽学院の客員教授に任命された。

また1992年にオーベルストドルフ・ミュージック・サマーを創設し、自ら芸術監督を務めている。ドイツ、アルゴイ地方で開かれるこの国際音楽祭では若手音楽家のための集中プログラム(マスターコースと学生によるコンサート)のほか、一流演奏家による一連のコンサートが開かれる。高い理想に裏打ちされた同音楽祭への取り組みが認められ、2004年10月にドクター・ダーツェルト財団賞を授与された。

お問い合わせ/コジマ・コンサートマネジメント

TEL.03-5379-3733 / 090-3727-6539

URL▶<http://www.kojimacm.com> E-mail▶[kojimacm@ops.dti.ne.jp](mailto:kojimacm@ops.dti.ne.jp)